

令和 7 年度 事業報告書

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 31 日

～重症児者の笑顔と未来を創る～

社会福祉法人

ふれ愛名古屋

令和 7 年度社会福祉法人ふれ愛名古屋（以下「ふれ愛名古屋」という。）が取り組む社会福祉事業および公益を目的とする事業について、下記のとおり報告します。

●第二種社会福祉事業

実施した事業

(1) 障害児通所支援事業

□昭和拠点

- ・重症児デイサービス natsu
- ・重症児デイサービス Hana

(2) 障害福祉サービス事業

□昭和拠点

- ・重症児者居宅介護 haru
- ・重度障がい者生活介護かえで
- ・重症児者短期入所こかけ

□港拠点

- ・重症児デイサービス hoshi
- ・重症児デイサービス mei

□港拠点

- ・重度障がい者生活介護 satsuki

●公益を目的とする事業

実施した事業

- ・福祉有償運送事業
- ・診療所事業

実施しなかった事業

- ・訪問看護事業

●会議の開催に関する事項

1. 評議員選任・解任委員会

(Ⅰ) 開催日時および場所

第1回：令和7年6月6日（金）13：00～13：30 法人本部／web

(Ⅱ) 議題

第1回：決議事項 評議員の選任の件

2. 評議員会

(Ⅰ) 開催日時および場所

第1回：令和7年6月20日（金）19：30～20：40 法人本部／web

(Ⅱ) 議題

第1回：報告事項 ①第9期（令和6年度）事業報告の件
②第10期（令和7年度）事業計画の件
③第10期（令和7年度）予算の件
決議事項 ①第9期（令和6年度）決算承認の件
②新役員の選任の件
③令和7年 役員等の報酬額の件

3. 理事会

(Ⅰ) 開催日時および場所

第1回：令和7年 5月30日（金）19：00～20：36 法人本部／web

- 第2回：令和7年 6月20日（金）21：30～21：40 法人本部／web
第3回：令和7年 9月19日（金）19：30～20：34 法人本部／web
第4回：令和7年 12月19日（金）19：30～21：30 法人本部／web
第5回：令和8年 3月18日（水）19：30～21：00 法人本部／web

（Ⅱ）議題

- 第1回：報告事項 職務の執行状況について
決議事項 ①第9期（令和6年度）事業報告書の件
②第9期（令和6年度）決算報告書（計算関係書類及び財産目録）の件
③役員改選候補の件
④役員等の報酬額の件
⑤令和7年 定時評議員会の招集の件
- 第2回：報告事項 令和7年6月20日の評議員会決議事項について
決議事項 ①理事長の選定
②業務執行理事の選定
- 第3回：報告事項 ①第10期（令和7年度）事業の進捗（4月～7月）について
②職務の執行状況について
決議事項 令和7年10月1日付 給与に関する別表等の改定の件
- 第4回：報告事項 ①第10期（令和7年度）事業の進捗（4月～10月）の件
②職務の執行状況について

- 決議事項 ①評議員選任・解任委員会の運営細則の策定の件
②第10期（令和7年度）予算の一次補正の件
③クラウド人事労務ソフト「スマートHR」の導入の件

- 第5回：報告事項 ①第10期（令和7年度）事業の進捗（4月～1月）の件
②職務の執行状況について

- 決議事項 ①第10期（令和7年度）予算の二次補正の件
②令和8年4月1日付 就業規則（給与規程）の改定の件
③第11期（令和8年度）事業計画の件
④第11期（令和8年度）予算の件

●寄附に関する事項

- (1) 三井住友海上あいおい生命保険株式会社 クリスマスケーキとお菓子
(2) 個人より 冷蔵庫他

●助成金に関する事項

- (1) 社会福祉法人 清水基金 6,600,000 円（ホシ 浴室改修工事）
(2) 中部ウォーカーソン（在日米国商工会議所 中部支部） 130,000 円（ハナ レースカーテン取替工事）

重度障がい者生活介護 satsuki

satsukiの特徴

法人内でも唯一の、生活介護と放課後等デイサービスの多機能型事業所です。長期休暇や土曜日祝日は、放課後等デイサービスの児童達も朝から利用されるので、大人ばかりの生活介護とは一味違うとても賑やかな雰囲気です。また、夏祭りや運動会、クリスマス会、忘年会等の、季節の大きなイベントは合同で行うことで大いに盛り上がっています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	15	16	16	16	16	16	16	16	16	15	14	14	
利用者数	114	138	120	133	120	133	123	121	116	108	102	110	1,438

医療管理	人工呼吸器	気管切開	酸素	吸引	経鼻・胃ろう	導尿
人数	2名	2名	4名	8名	7名	1名

* 3月1日時点

職員配置	管理責任者	生活支援員	看護師	理学療法士	作業療法士
人数	1名	7名	7名	1名	1名

* 3月1日時点

令和7年度を振り返って

今年度はパン作りの活動を再開し、アップルパイやソーセージパン、マヨコーンパンやあんぱんを作り販売しました。ハンバーガーとアイスコーヒーのセットを作り、カフェスタイルでの販売なども行うことができました。来年度もパン活動を引き続き行っていききたいと思います。外出では、ガスエネルギー館と神宮東公園への外出を楽しむことができました。新たな外出先も提案していききたいと思います。

重症児デイサービス mei

meiの特徴

特別支援学校から10分程で着くなど近く、放課後の利用では平日でも時間の余裕をもって活動に取り組むことができます。近隣にはスーパーや公園、商業施設、テーマパークなどもあり気軽に外出がしやすい立地になります。児童指導員や理学療法士、作業療法士など様々な分野のスタッフと一緒に「できた」を大切にしてい、楽しく過ごすことが出来る活動を考えています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	20	20	20	20	20	20	21	21	21	21	21	21	
利用者数	130	138	129	131	127	119	133	133	138	134	137	146	1,595

医療管理	人工呼吸器	気管切開	酸素	吸引	経鼻・胃ろう	導尿
人数	2名	7名	5名	12名	13名	1名

*3月1日時点

職員配置	管理責任者	保育士	児童指導員	指導員	看護師	理学療法士	作業療法士
人数	1名	2名	5名	1名	7名	1名	1名

*3月1日時点

令和7年度を振り返って

今年度は、「旅する光の切り絵展」やガスエネルギー館など、今回はじめて行く場所へのお出かけも取り組むことが出来ました。また、高学年の利用児が増えてきたため、実験遊びなどで学びながら遊ぶ活動も増やして年齢に合わせた活動を行いました。昨年度から引き続き、卒業お祝い会では高校3年生のご家族を呼んでのお祝いも行え、家族にも事業所での様子を見てもらうことが出来ました。コロナ禍以降、地域との交流が少ないため次年度では取り組みを考え、地域交流を深めていきたいです。

重症児デイサービスhoshi

hoshiの特徴

事業所周辺は、閑静な住宅地を中心に、長く住まれている住民の方が多い地域です。近隣には公園や学校、総合スポーツ教室もあり、子どもたちが生活しやすい環境が整っています。また熱田神宮を中心とした歴史ある地域であり、地域行事や交流の機会が比較的に多いです。地域とのつながりを軸に、信頼される事業所を目指していきます。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	15	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	
延べ利用者数	110	115	112	127	122	110	115	108	108	104	110	111	1,352

医療管理	人工呼吸器	気管切開	酸素	吸引	経鼻・胃ろう	導尿
人数	1名	5名	1名	7名	9名	2名

*3月1日時点

職員配置	管理責任者	保育士	児童指導員	指導員	看護師	理学療法士	作業療法士
人数	1名	1名	5名	0名	3名	0名	1名

*3月1日時点

令和7年度を振り返って

事業所が熱田区へ移転してからは、外へ出る機会が増えました。事業所前には公園があり、四季によって表情が変わり、五感で季節を感じさせてくれます。外出活動として、熱田神宮へ参拝へ出かけたり、熱田nagayaへ足を運び、散策や買い物体験を楽しんでいました。地域との繋がりを感じながら、子どもたちの社会性や経験の幅を広げています。

重症児デイサービス natsu

natsuの特徴

natsuは、法人内で最初に開所した放課後等デイサービスです。現在は名古屋東部エリアの利用児が中心で、港特別支援学校から少し距離が離れており、平日の放課後利用時は活動時間が短くなってしまいます。そのような中でも、季節感を取り入れ、年齢相応の活動内容にしたり、流行りの物をみんなで見たりと、スタッフ全員で工夫を凝らし「全力で楽しむ」をnatsuのスローガンにして、少しでも楽しく活動できるよう日々全力を尽くしています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	25	26	26	26	27	27	28	28	28	28	28	30	
延べ利用者数	153	153	153	161	146	148	150	145	144	143	147	159	1802

医療管理	人工呼吸器	気管切開	酸素	吸引	経鼻・胃ろう	導尿
人数	3名	6名	2名	7名	12名	1名

*3月1日時点

職員配置	管理責任者	保育士	児童指導員	指導員	看護師	理学療法士	作業療法士
人数	1名	3名	5名	0名	6名	1名	0名

*3月1日時点

令和7年度を振り返って

今年度は、「継続」を意識して活動を行いました。利用児のケア度が上がる中で、新しい職員を迎え、昨年度から続けてきた外出活動を今年も意識して行い、市内施設へのお出かけに加え、半日の電車旅や他事業所交流など新しいことにも挑戦しながら実施していきました。事業所内では、室内でも四季を感じられるように、壁面装飾をこまめに変えて移り変わりを表現したり、放課後利用の短い時間でもみんなで一緒に「はないちもんめ」をしたりと工夫を凝らしながら、楽しく過ごしました。

重症児デイスサービス Hana

Hanaの特徴

Hanaは当法人の中で、未就学児を受け入れている唯一の事業所です。初めて家族と離れて過ごす場として、安心して頂けるような環境設定と、家族以外の人との信頼関係の構築を最優先し関わっています。その中で年齢や個々に合わせた生活リズムを尊重し、発達段階を意識した関わりをすすめ、最終的には就学時のストレスが少なくなることを目標に支援しています。また、家族以外の人が子どもたちを理解し、ケアできる実績を積み重ね、家族が安心して、同胞との時間を持つことができることも意識し支援しました。

保育士・セラピスト・看護師の多職種で療育活動を考え、五感に働きかける活動を中心にいろんな経験ができるように努めています。医療的依存度に関わらず、福祉と医療の多職種連携を目指し、共有した目標に向かって、広い視野で子どもたちの未来につながる支援ができるよう努めています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	18	17	17	17	21	22	24	25	25	25	25	26	1,989
利用者数	176	179	156	165	161	156	165	147	158	176	168	182	

医療管理	人工呼吸器	気管切開	酸素	吸引	経鼻・胃ろう	導尿
人数	4	6	4	8	8	1

*3月1日時点

職員配置	管理責任者	保育士	児童指導員	指導員	看護師	理学療法士	作業療法士
人数	1名	3名	5名	1名	10名	1名	1名

*3月1日時点

令和7年度を振り返って

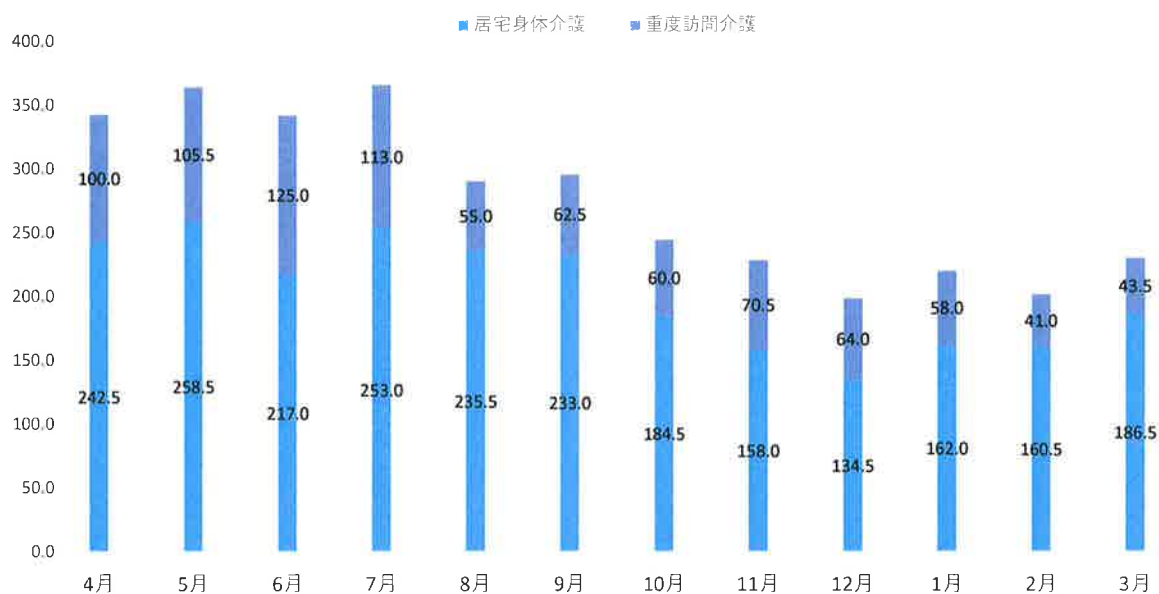
1年を通して7名が新規契約し、3月には3名の卒園児を送り出すことができました。相談員さんからの相談やHanaへの紹介が多数あり、利用につながるが多かったです。また最近ではSNSでご家族のつながりがあり、紹介して頂くケースも少なくない印象です。多方面から信頼して頂き、キャンセル待ちもお願いする中で、利用数も安定していたと感じています。また、今年度はご兄弟の誕生が特に多く、私たちにとっても嬉しいご報告をいただい、家族支援についても改めてスタッフと考えることもできました。引き続き、医療依存度に関係なく、たくさんの経験をお友だちと共に楽しむことができるよう、支援していきたいと思ひます。

重症児者居宅介護 haru

<居宅身体介護>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	29	28	27	27	26	26	25	21	21	19	23	20	292
訪問回数	225	231	199	233	211	213	202	188	154	187	184	212	2,439
提供時間	242.5	258.5	217.0	253.0	235.5	233.0	184.5	158.0	134.5	162.0	160.5	186.5	2425.5

<重度訪問介護>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	8	8	9	8	7	7	7	7	7	7	7	5	87
訪問回数	50	46	41	47	27	32	31	40	33	29	26	21	423
提供時間	100.0	105.5	125.0	113.0	55.0	62.5	60.0	70.5	64.0	58.0	41.0	43.5	898.0

令和7年度サービス提供時間推移



* 令和8年3月1日時点

職員配置	管理者	サービス提供責任者	非常勤ヘルパー	登録ヘルパー
内 訳	1名	1名	34名	2名

保有資格内訳

* 令和8年3月1日時点

介護福祉士	看護師	初任者研修	重度訪問介護	実務者研修
13名	12名	4名	2名	3名

認定特定行為業務

* 令和8年3月1日時点

特定行為業務 従業者内訳	第1号/第2号研修修了	第3号研修修了	看護師
	1名		8名

特定行為業務 実施項目内訳	喀痰吸引	経管栄養
	5名	2名

<福祉有償運送>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数（延べ）	3	3	3	3	4	2	4	4	3	3	4	3	39
運行数	4	4	3	3	4	2	5	8	3	3	4	3	46

* 令和8年3月1日時点

職員配置	福祉有償運送運転者
人数	8名

～今年度の振り返りと来年度に向けて～

今年度も地域の重症児者に寄り添い、その生活を支えることを最優先に、一人ひとりの生活状況や思いに丁寧に向き合いながら支援を行ってまいりました。利用者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、入浴・排せつ・食事・移動などの日常生活支援や家事援助に加え、心身の状態や生活環境を継続的に把握し、それぞれの希望やニーズに応じた支援計画を作成するとともに、定期的なモニタリングを通じてサービスの質の向上に努めました。

一方で、昨年度は要となる訪問介護員の退職が相次ぎ、支援体制の維持に大きな影響が生じました。特に、重度訪問介護や医療的ケアに対応できる人材が不足したことで、一部利用希望への対応制限や新規受け入れを断念せざるを得ない状況となり、当面の売上高が大幅に減少しました。しかし、既存職員を中心とした支援体制の見直しや業務調整を進めることで、サービス提供体制の立て直しに取り組んでおり、依然として人材確保には課題があるものの、職員間の連携強化や支援体制の工夫により、利用時間数や支援件数については緩やかな回復傾向が見られます。今後も人材育成と業務の安定化を継続しながら、来年度中の売上高回復に向けて段階的に改善を進めるとともに継続的な人材育成と職員定着に取り組む、持続可能な運営体制の確立を進めてまいります。

医療的ケアへの対応については、認定特定行為業務事業者の登録から一年が経過し、喀痰吸引や経管栄養等を含む支援について、安全を最優先にしながら継続的に提供してまいりました。当初は、医療的ケアを居宅支援の中でどのように安全かつ安定的に実施していくかについて、職員間での確認や調整を重ねる必要がありましたが、この一年間を通じて、実践経験の蓄積とともに支援体制は安定してきています。特に、支援開始前後の情報共有や手順確認、ケース検討を重ねることで、職員の知識・技術の向上と安全管理意識の定着を図ってきました。また、医療機関や訪問看護事業所、相談支援専門員等との連携も徐々に安定し、状態変化への対応やご本人・ご家族の安心感につながっています。現在では、医療的ケアを必要とする方への支援も日常生活の一部として少しずつ定着してきており、地域生活を継続するための体制が整いつつあります。

また、移動支援の一環として実施している福祉有償運送サービスについても、本年度は利用件数・運行回数ともに増加し、徐々に定着してきています。特に、総合病院への定期通院や専門医受診など、公共交通機関の利用が難しい重症児者にとって、安全かつ継続的な移動手段として役割を担うようになりました。当初は個別調整や運行管理に課題がありましたが、現在では支援体制や運行スケジュールも整理され、安定した運行が可能となっています。

加えて、単なる送迎にとどまらず、重度訪問介護と連携した通院介助や代替コミュニケーション支援を組み合わせることで、ご利用者の状態や特性に応じた包括的な移動支援が実現できています。これにより、ご本人のみならず、ご家族の身体的・精神的負担軽減にもつながり、「安心して通院できる」「継続して地域で医療を受けられる」といった声も寄せられるようになりました。

福祉有償運送については、地域資源としての必要性も年々高まっており、医療的ケアを必要とする方の地域生活を支えるうえで欠かせないサービスとなっています。来年度も、安全管理と運行体制の充実を図りながら、医療的ケア、生活支援、移動支援を一体的に提供できる強みを活かし、地域の重症児者とその家族の暮らしを支えてまいります。

重度障がい者生活介護かえで

かえでの特徴

かえでは、平成31年4月に開所した、ふれ愛名古屋が運営する2つ目の生活介護事業所です。学校を卒業し、社会生活を送る場所の一つとして、安心・安全・楽しく過ごしてもらえるよう支援をしています。その中で個々の希望に寄り添った支援ができるよう、支援計画を作成します。利用者と年齢の近いスタッフも多く、さまざまな活動にもチャレンジすることを進めてきました。その中で、利用者が楽しむことのできる活動はもちろん、他者のために行う活動も考えて行っています。重症心身障がい者、医療的ケア者との関わりは福祉職と医療職の連携が必要不可欠なので、それを念頭に置きながら、スタッフ一丸となり利用者の地域生活を創るために支援しています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	
延べ利用者数	180	179	172	179	171	171	169	149	149	137	148	158	1,962

医療管理	人工呼吸器	気管切開	酸素	吸引	経鼻・胃ろう	導尿	ストマ
人数	4名	5名	3名	10名	10名	0名	1名

*3月1日時点

職員配置	管理者	サービス管理責任者	生活支援員	看護師	理学療法士	調理員
人数	1名	1名	13名	7名	0名	3名

*3月1日時点

令和7年度を振り返って

今年度は、新たに3名の契約をし、利用者は19名となりました。一日の平均利用者数も6～7名になり、利用者とスタッフで賑やかに過ごすことができた1年でした。活動は、前年度と同じような内容でしたがやり方を変えたり、活動の姿勢を変えたりなど変化をつけるよう意識したり、新しい活動や制作を行えるように少しずつですが意識して取り組みました。集団生活を送るうえで、「皆で活動に参加する」をベースにし、利用者の体調を考慮しながら必要に応じて個々で排痰などの医療的ケアもできるような体制を作り、取り組みました。また、スタッフの育成目的として、生活支援員向けに看護師に講師となってもらい、医療的ケアの勉強会を実施しました。看護師はわかりやすく伝達するため、生活支援員は知識向上のために、どちらのスタッフもスキルアップの機会となりました。

重症児者短期入所 こかげ

こかげの特徴

看護師・介護職合わせて2対1の人員配置とし、人工呼吸器・頻回の吸引を要する児者、動く医療的ケア児者への対応も可能です。また、感染症対策の個室を設け、緊急対応の受け入れを優先するなど、ご家族が困った時に寄り添えるような支援をしたいと考えています。

ご自宅同様のケア（医療的ケア含めたケア・就寝環境・食事の形態・毎日の入浴など）を基本とし、ご家族と過ごすように私たちとリラックスして過ごしていただけるよう配慮し、「楽しかったな」「また来たいな」と思い、元気に帰宅されることで、ご家族も「またお泊り楽しんできてね」と送り出して頂くことを目標として支援しています。年齢に関係なく交流できる、お泊り会のように楽しんでもらえるよう日々工夫しています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用登録者数	131	123	125	127	128	128	129	129	129	130	134	136	／
延べ利用数	160	164	150	168	168	155	162	144	146	144	146	168	1,875

登録者数：136名（3月末時点）

医療管理	人工呼吸器	気管切開	酸素	吸引	経鼻・胃ろう	導尿	ストマ
延べ人数	40名	36名	38名	59名	78名	8名	1名

職員配置	管理者	生活支援員	看護師	理学療法士	調理員		
人数	1名	8名	14名	／	3名		

令和7年度を振り返って

月2回の予約制限の中で新規契約児（主に未就学児）が増えるため、予約の取りづらさが年々顕著になってきている状況です。緊急時の相談も増えており、今年度は約20件の緊急受け入れをしました。緊急の多くは主介護者の体調不良ですが、急な引越しのための準備や同胞の予定などもあり「何かあったら相談できる場所」として連絡を受けることも多くなり、ご家族の認知を実感することができています。

はじめてのショートステイ利用に、こかげを選んで頂くことが多く、利用児者2名対し職員を1名配置をすることで、ケアのみならず、利用児者やご家族の気持ちにも寄り添うことができています。こかげはご自宅での生活の延長になるように、利用児者一人一人に合わせた、入浴方法、温かいごはん、柵のない寝床、お友達との楽しい時間など、ご自宅以外でも、心を安らげるような環境作りに努めており、実際に「こかげの日は安心してぐっすり眠れました」「帰ってきてもご機嫌でした」等の嬉しいお言葉を頂いています。スタッフも定着し、年度末にはまた新しいスタッフの追加もあったので来年度は、質を落とすことなく稼働日の拡大ができるよう努めます。